

平成26年度第6回 小高区地域協議会会議録

- 1 日 時：平成26年11月10日(月)
午後1時30分～午後3時25分
2 場 所：浮舟文化会館 第1研修室

・ 小高区地域協議会委員数：15人、当日出席委員：11人(欠席委員4人)

【出席委員名】

山澤 征、堀内 行信、玉川 敬、林 勝典、
宝槻 晶子、小林 友子、齋藤 幸子、阿部 治幸、
白髭 幸雄、中村 眞木、後藤 素子

(説明職員等)	小高区役所長	村田 博
	小高区総括参事兼地域振興課長	松本 実
	小高区地域振興課主幹	堀川 信浩
	同 課長補佐	根本 剛美
	同 振興係主査	青田 吉彦(書記)
	小高区市民福祉課長	武内 英敏
	復興企画部長	渡部 克啓
	復興企画部次長兼企画課長	植松 宏行
	企画課 企画係長	涌井 秀之
	同 企画係主査	遠藤 一祐
	経済部長	藤田 幸一
	建設部建築住宅課長	木幡 仁
	教育委員会事務局長	小林総一郎

1 開 会(地域振興課長)

本日、林靖委員、伊藤勇委員、佐藤良一委員、渡部幸史委員から欠席の報告をいただいております。

只今、15人の委員中11人が出席しており、過半数を超えているので、本日の会議が成立しております。

まず初めに、会長からご挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

先月実施しました委員視察研修では、途中、台風通過による大雨になりましたが、委員の皆様にはご参加いただきありがとうございました。

3 議事

(1) 前回会議録の確認

事務局作成のとおりで、了とする。

(2) 会議録署名人の指名

山澤会長の指名により、次の2名を会議録署名人としました。

・中村 眞木 委員、 玉川 敬 委員

(3) 諮問事項

南相馬市復興総合計画前期基本計画（案）について（企画課説明）

小高区役所長が諮問書を読み上げ後、地域協議会長へ手渡した。

・質疑

（白髭委員）それぞれの基本指針の推進に係る担当課を教えてください。

（企画課長）後日、資料として配付します。

（白髭委員）基本指針1（2）「農林水産業の再興」において、放射性物質による汚染への対策を明記するべきです。

（企画課長）第2章まちづくりの基本指針各論12ページ「4.施設園芸作物など新たな農業への転換と安心安全な農畜産物の生産」の主要な取り組みにおいて、「放射性物質吸収抑制対策の実施」、「農畜産物の放射性物質検査体制の確立」として明記しています。

（白髭委員）林業、水産業についてはどうですか。

（企画課長）まちづくりの基本指針各論14ページ「1.森林の公益的機能回復と放射線量低減」において、「森林の間伐、路網整備等を実施し、森林の公益的機能回復と放射線量の低減に努めます。」としております。また、現在、福島森林再生事業を始めています。これは、森林の伐採等により、放射性物質を出さないように、放射性物質の低減化を図っていくもので、林野庁において実証実験が始まっています。森林の放射性物質の低減化に向けて、国策として行われますので、我々もこの計画のローリングを重ねながら進めていきたい。水産業に関しましても、現在、放射性物質の検査などが進んでいますが、我々としてはそれを踏まえて、水産業の再生と振興に取り組んでいくという課題を挙げています。今、最も取り組むべきは、漁業関係の生産基盤の整備と考えており、真野川漁港の整備をしているところです。更には、川・内水面漁業の再興については、国として川の除染の明確な方針が示されていないところですが、鮭繁殖あるいは、淡水魚等の放流活動を進めていく必要があると考えています。

（白髭委員）今の説明では、具体的な実施項目は示されませんでした。基本的な放射性物質に対する汚染対策は示されていたと思います。

以前より、この地域協議会に提案していたのですが、市として、（仮称）放射線防護課の設置と、スクリーニングを含めた公共の除染施設を設置が必要です。放射

線防護課については、市民がこの地域に生活をする中で放射性物質への不安や心配があると思う。例えば、この辺の線量はどの位あるのか、この辺の土壌はどの位汚染されているのか、この露地野菜は食べても良いものかどうか、また、山菜やキノコを取ってきたものが食べて良いものかなど、生活する上でいろいろ出てくると思うが、現状では、市でも生涯学習センターなど測定できるところがあるが、空間線量、土壌汚染、野菜など、それぞれの窓口が異なっていて、どこに相談してよいか分からない。市で、放射線に関する、放射性物質の汚染に関する問い合わせ・質問に対する総括した窓口として、放射線防護課というものが必要と常々思っています。

もう一つは、農作業を行ったときに、農機具や身体に付着した放射性物質を含んだ土を測定し、必要があれば除染する場所として、公共のスクリーニング・除染施設を構想の中に入れて欲しい。

(復興企画部長) 放射線に関する部門を一つの課にまとめるということは、庁内でも検討されました。しかし、現実的には、内容が多岐にわたることから、完全に一つにまとめるということはできなかった経過があります。健康づくり課を中心にすることでまとめてきたところですが、今後も検討をして行きたい。

スクリーニングについては、県がスクリーニングポイントを設けてきたところです。健康管理について、市では、総合病院に置いたホールボディカウンターやガラスバッジで測定を進めてきたところです。今後ともより良い仕組みづくりを進めていきますが、全てのことを網羅して一つの課にまとめるというのは、庁内でも頭を痛めているのが現実です。しかし、市民の窓口をまとめることについて、今後とも努力をしていきます。

(白髭委員) それだけ膨大な情報が集中するところは、中途半端なことではだめで、放射線防護課という形で情報が集中する仕組みは是非必要と思います。県のスクリーニングポイントは十分な機能を果たしていないと感じている。農作業でも、汚染されている土壌が付着するため、それを河川等で洗い流すのではなく、きちんとスクリーニングを行い、必要であれば除染をするところについて、内部被ばく対策として重要であることから市でも検討を進めていただきたい。

(小林委員) 栽培された野菜などについては、検査が十分行われ、不安が無いと考えているが、土やほこりについてはまだ安心できないため、これから戻ってくる若い人に安心を提供できるよう、白髭委員から提案された施設が必要と思います。

(復興企画部長) 子ども達の被ばく対策については、これまでも取り組んできたところですが、今後もいろいろな対策を組み合わせることで内部被ばく、外部被ばくの対策を充実をさせていきます。学校での、子どもが放射線と付き合うための教育について、先生方を交えて講演会を開催することなどを行っています。

(阿部委員) P108の基本指針6「持続可能なまちづくり」の施策6「柔軟な組織運営」にあるとおり、こういう活力を入れていけるようなまちづくりを進めていくことで、今までの話是对応できると考えています。

(復興企画部長) その通りでありました、組織運営については、毎年、今の組織で良いのかどうか機構改革等、見直しを進めています。例えば、昨年から今年に掛けて変わったところとして、原子力損害賠償を担当する課を設けたところです。

(議長) 諮問について、原案のとおり承認することを答申してよろしいか。

(各委員) 異議なし。

(10分間休憩)

(本庁説明職員 退席)

(4) 協議事項

委員提案について

提案(小高区の将来のまちづくりへの研究会設立)について、提案者(阿部委員)から説明。

(林勝典委員) 市が行っているいろいろな検討委員会との整合性はどうするのか。

(阿部委員) 今回提案した研究会は、小高区地域協議会の下部組織として、地域協議会に検討結果を報告するものです。

(林勝典委員) 今、市が行っている検討委員会のメンバーは、どのように選ばれているのか。

(小高区役所長) 市が委員を選出しています。

(齋藤委員) 今、小高区市街地整備基本計画策定委員会の委員の一人として、計画策定を進めているところです。

(阿部委員) 10年後、20年後の小高区の進む先のたたき台となる模型を作りたいと考えています。

(小高区役所長) 提案にある、中心市街地検討委員会は除外してという言葉は、中心市街地検討委員会とは全く別に進めるという意味ですね。

(阿部委員) 私の提案は海から山まで、浪江との境から原町との境まで、広く検討したいというものです。

(林勝典委員) 20年、30年先を見据えた話し合いをすることは重要と思う。

(堀内委員) 有識者として名前が挙げられている方とは、どのような話しをしているのですか。

(阿部委員) プライベートで話しをしている段階です。

(堀内委員) 地域協議会の下部組織とするのか、もっと上位の組織になるのか。

(阿部委員) 地域協議会としての提案ですので、当然、地域協議会の下になります。

(阿部委員) 予算検討については、地域振興課長にお願いをしているところです。

(地域振興課長) 中心市街地以外にも、農業や高線量地区の復興を小高区の人が考えていくことは必要と思います。有識者の方は旅費実費を支給しますが、地元参加者と同じくボランティアとして無給でお願いするものと考えています。財源は自治振興基金を充当することとしたい。

(堀内委員) 地域協議会の下部組織ではなく、もっと上位の組織にすべきと考える。

(阿部委員) 地域協議会委員の考えも反映させるため、このような提案としました。

(玉川委員) 塚原公会堂の設計に筑波大学の先生が参加されていますが、ボランティアで参加されています。

(後藤委員) 委員はどのような構成になりますか。

(阿部委員) あまり、上に持ち上げると、市からの委嘱とか、話しが硬くなるので、地域協議会のすそ野の組織にしたい。

(林勝典委員) 自由な意見を交換する場は必要と思います。

(議長) 提案のありました、小高区の将来のまちづくり検討委員会については、進める方向としてよろしいか。

(各委員) 異議なし。

(5) 報告事項

パブリックコメントに諮ることについて

事務局(青田主査)から資料により説明。

(議長) 報告について、了としてよろしいか。

(各委員) 異議なし。

(6) その他

次回協議会の開催日程(案)について

(事務局) 次回は、1月中旬開催として、日程は早めにお知らせします。

その他

(阿部委員) 11月8日から9日まで、新潟で、鳩原小学校PTAが中心となり、新潟に避難されている鳩原小学校関係者のふれあいを行いました。来年2世帯ほど戻ってくるとい話もいただき、明るい話題としてお知らせしたい。また、新聞に掲載されたものを資料としてお配りしました。

(白髭委員) 11月2日から3日まで、以前に地域協議会で視察した放射線衛生学研究所の木村真三先生から、北関東広域支援ネットワークにお誘いがあり、私、後藤委員、小林委員、その他2名が新潟県長岡市の会議に参加しました。翌日は、山古志の復興に学ぶということで見学してきました。

(後藤委員) 中越地震から10年ということで報道されているが、今回、山古志に初めて訪問しました。山古志の仮設住宅に入られている方に話を聞くと、最初の4年間、長岡市に避難して、その後6年は仮設住宅に入られているということで、まだ、そういう状況が続いているということで、実際行ってみないと分からないことがある。南相馬の状況も、実際に来てみてもらわないと分からないことがたくさんあると思いました。

(小林委員) 元住んでいた地域の近くに分散して復興住宅を設けることが必要と感じてきました。

(白髭委員) 帰還後、高齢者が若い人の世帯と別れる事となったため、生活が困難と

なったことへの対応が課題としてあげられていました。

6 閉 会 （終了 午後3時25分）

以上のとおり相違ありません。

会 長 山 澤 征

会議録署名人 中 村 眞 木

会議録署名人 玉 川 敬